



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アサnte

コード番号 6073 URL <http://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宗政 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 飯柴 正美

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,349	3.3	1,640	△2.9	1,653	△2.2	1,074	1.7
27年3月期第2四半期	7,114	1.8	1,689	0.1	1,690	0.7	1,056	0.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	87.09	—
27年3月期第2四半期	86.51	85.77

(注) 28年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,672	9,948	72.8
27年3月期	12,749	9,268	72.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,948百万円 27年3月期 9,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	9.7	2,600	13.1	2,606	10.9	1,661	17.7	134.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	12,341,900 株	27年3月期	12,341,900 株
28年3月期2Q	68 株	27年3月期	— 株
28年3月期2Q	12,341,837 株	27年3月期2Q	12,216,051 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成27年11月17日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかにT Dnetに開示のうえ、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調にあるものの、円安に伴う物価上昇等を背景に個人消費の回復は遅れており、先行き不透明な状況となりました。

当社市場におきましては、既存家屋に対する長寿命化と防災面も含めた保全意識は依然として高く、これが白蟻防除を主軸とした当社事業にフォローとなっていると見ておりますが、消費者マインドには依然として停滞感があり、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下において、当社は平成27年4月に奈良支店を新規開設し、営業エリアを21都府県に拡大いたしました。営業戦略といたしましては、第1四半期を中心に積極的な広告宣伝・販促活動を展開して、前事業年度において不振であった新規顧客向け営業の拡販を図るとともに、同様に「買い控え」が見られた既存顧客向け営業においても積極的な販売に努めました。

組織戦略といたしましては、より厳しさを増すと見られる採用環境のなかで優秀な人材の増強を図るため、人事本部を設置し、担当取締役を配置いたしました。また、平成27年6月に、ガバナンス強化のため社外取締役を増員いたしました。

この結果、売上高は前年同期比234百万円増(同3.3%増)の7,349百万円となりました。損益面では、売上高の増加を人員増、拠点増に伴う費用等の増加が上回り、営業利益は前年同期比49百万円減(同2.9%減)の1,640百万円、経常利益は前年同期比37百万円減(同2.2%減)の1,653百万円となりましたが、四半期純利益は前年同期比18百万円増(同1.7%増)の1,074百万円となりました。

#### (経営成績に関する特記事項)

当社の業績(特に利益)は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、主に白蟻防除の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比923百万円増加して13,672百万円となりました。主要因は、現金及び預金が594百万円増加、売掛金が249百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比243百万円増加して3,724百万円となりました。主要因は、未払法人税等が350百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末比679百万円増加して9,948百万円となりました。主要因は、利益剰余金が679百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末比594百万円増加して5,615百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比347百万円多い1,047百万円の収入となりました。主要因は、売上債権の増加額246百万円、法人税等の支払額241百万円がありましたが、税引前四半期純利益1,653百万円があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比314百万円少ない20百万円の支出となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期同期比118百万円多い433百万円の支出となりました。主要因は、配当金の支払額395百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、堅強な経営体制ならびに財務体質を基盤として、着実に新規営業エリアの開拓、既存エリアの深耕を図るとともに、当社ならびに当社事業の認知度向上に努めております。

当第2四半期累計期間においては、概ね当初予想通りに推移いたしました。下半期においては、人材育成ならびに適正配置によって営業力を一層向上し、新規受注の増加を主軸とした売上高増加に努めてまいります。

従いまして、通期の業績につきましては、平成27年5月8日に公表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,021,289	5,615,487
売掛金	1,687,206	1,936,386
製品	54,142	52,828
原材料及び貯蔵品	112,494	120,614
その他	267,556	331,235
貸倒引当金	△1,687	△193
流動資産合計	7,141,002	8,056,360
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,796,590	1,757,157
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	242,039	229,289
有形固定資産合計	4,991,235	4,939,052
無形固定資産	39,171	40,604
投資その他の資産		
その他	632,291	687,109
貸倒引当金	△54,016	△50,358
投資その他の資産合計	578,274	636,750
固定資産合計	5,608,681	5,616,408
資産合計	12,749,683	13,672,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	243,464	271,226
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	421,080	426,080
未払法人税等	257,701	607,863
賞与引当金	255,208	248,369
その他	969,090	838,793
流動負債合計	2,216,546	2,462,331
固定負債		
長期借入金	668,318	641,528
役員退職慰労引当金	471,050	479,615
資産除去債務	65,794	66,887
その他	59,320	73,905
固定負債合計	1,264,482	1,261,936
負債合計	3,481,028	3,724,267
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,156,410	1,156,410
資本剰余金	856,410	856,410
利益剰余金	7,255,834	7,935,772
自己株式	—	△92
株主資本合計	9,268,654	9,948,500
純資産合計	9,268,654	9,948,500
負債純資産合計	12,749,683	13,672,768

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	7,114,371	7,349,079
売上原価	1,977,393	2,052,982
売上総利益	5,136,978	5,296,097
販売費及び一般管理費	3,447,310	3,655,888
営業利益	1,689,667	1,640,208
営業外収益		
受取利息	583	677
受取保険金及び配当金	16,393	23,132
その他	2,148	3,680
営業外収益合計	19,125	27,490
営業外費用		
支払利息	6,898	5,995
支払手数料	3,980	5,880
その他	7,197	2,471
営業外費用合計	18,076	14,347
経常利益	1,690,716	1,653,351
特別損失		
固定資産除却損	20,490	—
特別損失合計	20,490	—
税引前四半期純利益	1,670,226	1,653,351
法人税、住民税及び事業税	511,256	576,188
法人税等調整額	102,130	2,283
法人税等合計	613,387	578,472
四半期純利益	1,056,839	1,074,879

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,670,226	1,653,351
減価償却費	54,213	82,968
貸倒引当金の増減額(△は減少)	62	△5,151
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,111	△6,839
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,424	8,564
受取利息及び受取配当金	△583	△677
支払利息	6,898	5,995
固定資産除却損	20,490	—
売上債権の増減額(△は増加)	△204,662	△246,671
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,452	△6,806
仕入債務の増減額(△は減少)	5,248	27,761
その他	△130,744	△217,013
小計	1,410,010	1,295,480
利息及び配当金の受取額	583	677
利息の支払額	△7,259	△6,316
法人税等の支払額	△705,439	△241,985
その他	2,021	△316
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>699,915</b>	<b>1,047,540</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△303,755	△16,194
固定資産の除却による支出	△20,490	—
その他	△10,780	△3,885
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△335,026</b>	<b>△20,079</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△209,290	△221,790
配当金の支払額	△304,156	△395,079
その他	△864	△16,393
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△314,310</b>	<b>△433,262</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,578	594,198
現金及び現金同等物の期首残高	4,955,629	5,021,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,006,208	5,615,487



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。